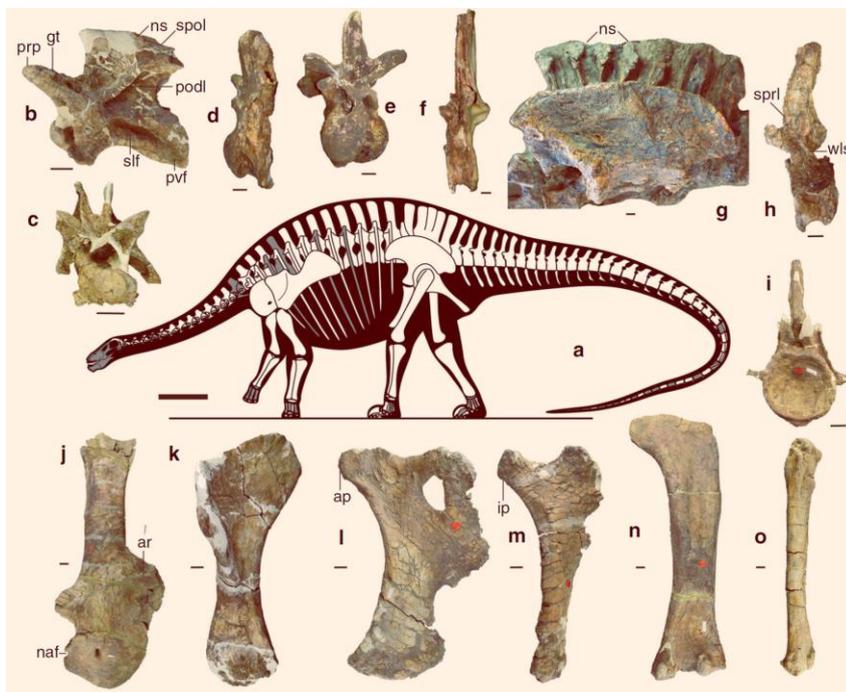


中国北西部で発見された最古の新竜脚類恐竜リンウーロン・シェンキ

中国北西部で発見された大型草食恐竜のものとされた化石は、中国科学アカデミー古セキツイ動物・古人類学研究所の Xing Xu ら古生物学者らによって記載され、1億7400万年前に生息したディプロドクス上科に属するものであることが明らかになった[1]。

ディプロドクス上科に属する恐竜は、これまで1億5000万年前ごろの北米大陸の地層で発見されていた。今回の発見によって、ディプロドクス上科の恐竜の出現は、1600万年も過去に遡ること、北米大陸だけでなくアジア大陸にも分布を広げていたことを示すものであり、ディプロドクス上科を含む新竜脚類の起源と生息域の拡大に見直しを迫るものであった。この恐竜は、発見地の地名にちなんで、リンウー（靈武）の驚くべき恐竜という意味のリンウーロン・シェンキと名づけられた。

ディプロドクスは、化石の産出する地層の年代と分布から、1億5000万年前から1億4700万年前の中生代ジュラ紀後に、北アメリカ大陸に棲息していたと考えられてきた。全長30メートル、体重70トンに達する大型の草食恐竜で、その特徴は長い首と尾をもつことである。アメリカの実業家アンドリュー・カーネギーが地球上の動物のなかで最大のものを探することを目的として発掘を行って発見されたことでも有名である。



図。発見された化石と復元図。Xing Xu et al. (2018)より。

新竜脚類は2億年前に出現したが、巨大化した子孫が出現したのは1億6000万年前ごろになってからであるとされた。だから、リンウーロン・シェンキが1億7400万年前の地層から産出したことは驚くべき発見であった。さらに、これまで、中生代ジュラ紀には中国大陸はパンゲア大陸から分裂したため、恐竜の進化は他の大陸と隔離されて独自の進化を遂げたと考えられてきた。しかし、この恐竜が中国で発見されたことは、新竜脚類が超大陸分裂前に多様化し、世界各地に広がったことを示唆しており、中国大陸における恐竜類の起源や進化における生物地理学の問題にも一石を投じるものとなっている。

[1] Xing Xu et al. (2018) A new Middle Jurassic diplodocoid suggests an earlier dispersal and diversification of sauropod dinosaur. *Nature Communications*, 9, article number 2700; doi:10.1038/s41467-018-05128-1.